

第4回川西市中心市街地活性化協議会 議事録要旨

- ◇日時 平成19年11月27日 10:30～11:45
- ◇場所 アステ川西5F「コンパス」
- ◇議題 議題1:事業の推進方策について

▽会長挨拶

・船岡正夫会長より(川西市商工会)

<議案1:事業の推進方策について>

①活性化のスタンス、活性化基本方針について

<委員>・活性化スタンスにおけるまちの資源とは何か。

<事務局>・これまでの協議会では、まちの資源を再開発事業等による蓄積と説明してきたが、これだけではなく商業集積や自然資源、公共・公益施設などを包括したものを資源として表現している。

<委員>・それだけでは資源として弱いのではないか。例えば、資源として含まれているドラゴンランドについては、清流があるだけで中途半端である。これが果たして資源と言えるのか。

<議長>・まずは資源という言葉の使い方であるが、これは国でもかなり定着しており、建物などを含めたハード面や公園等にも使われている。一方ソフト的に、どういった人が暮らしているのか、歴史的・文化的資源なども含め、資源として広く捉えられている。今回の提言もその流れを踏まえ、広義な捉え方、概念を示している。
・ここに示されている資源は、資源としてかなり弱いとのことであるが、不足している部分については、基本方針や具体的な事業の中で打ち出していくというやり方をとっている。

<委員>・活性化のスタンスにおいて、“利用しやすいまち”という表現が引っかかる。

<事務局>・表現のあり方についてはもう少し検討したい。

<議長>・方向性については、生活者の視点と、それだけではなく外部から来た方にも利用しやすいという視点を活かしながら、もう少し良い表現を探してほしい。

<委員>・資料を見ながら議論することも大事であるが、イベントや人が集まって活性化しているまちを実際に視察できないか。これにより、議論がより活発になるのではないか。

<事務局>・先進地視察については事務局で検討しているため、今後呈示していきたい。

<議長>・活性化のスタンスは、滞留・回遊というキーワードを前面に打ち出した案であるが、“利用しやすい”という表現はペンディングとしながら、概ねこれでよいのか伺いたい。
・ここで呈示された形で、活性化のスタンスや基本方針を申請書に盛り込むということでまとめた。
・来月の協議会で基本計画に関する素案が示されるため、万一表現などで引っかかる場所がある場合は、その時点での修正も可能である。

②キャッチコピーについて

<委員>・第2案の“アート”とは、まちのどのような部分で表現されているのか。街なかでアートらしいものはあまり見られない。アートとハートをひっかけて表現していることは分かるのだが。

<事務局>・アートについては、今後の事業と連動させたいと考えている。当初から宝塚造形芸術大学と様々な活動をとともに行いたいということもあり、このことが事業として出されたら、アート&ハートとしてやりやすいというイメージを持っている。その辺りは、各事業提案を見た上で改めて意見を頂いてもよいかと考えている。

<委員>・インパクトとしては第1案の方が良いのではないか。しかし、表現として夢回廊というのはいかがか。この部分については、もう少し表現を考えてほしい。また、アート&ハートは横文字が多すぎるため、高齢者には馴染みにくいのではないか。

<委員>・中心市街地においては、これからも建物がどんどん建てられモダンな町並みになると思う。これに対して夢回廊という表現は、古い街並みや街道に対しては似合うと思うが、これからのモダンな街並みには相応しくないのではないか。もう少しモダンな呼称にしていだきたい。

〈事務局〉・キャッチ・コピーのイメージとしては、川西能勢口駅周辺の約18万人の駅利用者、地上レベルにある街の資源を活用しながら、回遊してもらいたいというものである。そして文化や音楽を感じながら、中央北地区や商工会館、文化会館、市民会館、みつなかホールなどを回遊してもらうことを現すことができるイメージの一言である。

- ・位置を示すものとしても、“かわにし”が良いのか、“かわにしのせぐち”が良いのかということを含めて、忌憚のない意見を頂きたい。

〈委員〉・キャッチ・コピーについては、次回の協議会まで各委員に考えて頂き、改めて意見を伺ったらどうか。

〈議長〉・この件については、ペンディングとして、各委員に検討していただき、次回に決定するようにしていきたい。

③各種事業について

〈委員〉・地元からは、駅からみつなかホールへの動線上にアーケードを整備してほしいという要望がある。

- ・事業には、駐車場整備とあるが、各駐車場の駐車料金の申し合わせも必要ではないか。現状では、中心市街地にある駐車場の料金がバラバラであり、それに伴い、駐車場の安いところに来街者が集中し、混雑している。駐車料金を決める方法を考えられないか。

〈事務局〉・駐車料金の件については、これまで事務局で話題にはなっていなかった。今回の事業の中では共通ポイントカードを利用しながら、地域の方々への駐車場の利用促進などの話を出している。

- ・川西能勢口で成立するかは分からないが、他都市の事例では、地元の人に対して3日間すべて駐車料金を無料にする試みが行われている。これらを含めて駐車場の運用、廻し方等について、協議会のワーキングのような形で駐車場のことを集中的に議論したらどうか。

〈委員〉・案としては良いものができてきているのではないかと。しかし、具体性に欠けているという大きな課題があるように思う。12月には申請の素案を出していただけたとのことであるが、今よりももう少し具体性のあるものになるのか。

- ・市の考え方があまり反映されていないように見られる。市の協力がなければ整備できないような道路や再開発などもある。この辺りはこの一ヶ月で調整できるのか。

〈事務局〉・国からは、協議会の意見を市が受け、それらをまとめた上で、来てほしいといわれている。しかし、素案がまとまったからといって、いきなり基本計画書の素案を持ってこられるのは困ることであるため、本協議会のこれまでの協議内容をまとめた資料を持って、活性化の方向性について相談にのっていただくことになっている。

- ・今後の流れとしては、法律に基づいて、協議会で出された方向付けを意見書として市に提出し、これを受けて市が提案された事業と、市の内部で未だ調整が残されている事業をあわせて、基本計画書の素案にまとめていくということになる。
- ・検討中の事業等もあると思うが、それらがほぼみえてきた段階で取りまとめるようにしたい。

〈委員〉・中央北地区のまちづくりについては、基本構想の策定に向けた第3回目の会議を明日行うこととなっている。中央北地区がこのような状況で、中心市街地活性化に関する素案を国に説明する際には、どのように説明されるのか。

- ・現所在地権者のアンケートがまとまりつつあるが、その中で、大型の商業施設を持ってきてほしいという地権者が多く、まちづくりの方向性についても、その意見に沿って進めなくてはいけないと考えている。この点も含め、国にどの様に説明されるのか、教えてほしい。

- ・前回の協議会で、ある委員から、川西市の再開発事業は非常に成功してきたが、それぞれの事業のつながりがないため、今のような課題がある市街地になっている、という意見があった。こうして中心市街地の活性化を中央北地区も含めて進めようとしているが、もしここで連携がとれなければ、また同じ事になり、みなで潰しあう可能性がある。それを避けるのであれば、ここで早急に結論を出すのではなく、中央北地区が3月に策定する基本構想を見ながら進めることも考えられるのではないかと。時間的な都合があるならば、お話はきかせてもらう。

〈事務局〉・中心市街地における活性化区域の中で、中央北地区は非常に重要なエリアである。国の本部には、あくまでも80ha全体での滞留・回遊を強調してきた。

- ・中央北地区については、年度末までに基本構想を策定したいということを知っている。また、庁内でも中央北地区は土地区画整理事業により整備を検討しているということもオーソライズされてきている。土地区画整理事業では各機能のゾーニングが必要であり、その中には、商業のゾーニングもある。そこで、この商業のゾーニングにおいて大型商業施設が相応しいのか、駅周辺とつながりが強い施設と共存できる業種に限るのか、さらに近隣型のスーパーに限るのか、ということについては議論が必要となる。しかし、当初から中央北地区と川西能勢口駅周辺の共存をうたっていることから、これを外すことは非常に難しい。

- ・中央北地区への施設導入についても、いろんな意味で需要予測が必要となると思われるため、大型商業施設の商圈についても、基本構想をみた上でまとめていくことになる。

- ・一方、事業主体の中には、来年度から事業を行いたいという方もいるため、できれば、今あるこの状態で、将来の含みも入れながら認定していただけるような話をしたい。また、中央北地区で具体的な事業がみえた段階で、中心市街地活性化基本計画の変更は可能である。

- < 委員 > ・ドラゴンランドは、土曜、日曜、祝日などは駐車場が20台程度しか確保されていないため、渋滞となっている。ここでは、河川敷を活用した臨時駐車場を設けてほしい。
- < 委員 > ・資料等を見ていると、何のために人を呼ぶのかという、大きな目標がない気がする。例えば便利だから常に利用するという施設の誘致は考えられないか。
- ・また、われわれは農産物等を使ったイベントはできるが、活性化の中で、イベントではなく恒常的に集客できるような施設があれば、そこへの人の動線、道路の整備なども見えてくるのではないか。
 - ・全体の構想について、もう少し考えた方が良いのではないか。
- < 委員 > ・川西市はベットタウンとして戸建住宅に住む人が多いが、その方々を利便性の高い中心市街地に回帰させるという対応を基本方針に加えられないか。
- ・また、川西市とはこういうまちであるというPRの場が必要ではないか。例えば、市がFM放送を利用してコマーシャルを流すということを発想を変えて考えることもよいのではないか。
- < 委員 > ・キャッチ・コピーについては、いろんな方に聞いて頂き、小さな子どもからお年寄りまでわかりやすいものにしていただきたい。
- < 委員 > ・活性化の基本方針が6つあり、5つの戦略があるが、活性化本部に説明に行った際には、目標値の設定についての指摘が出てくると思う。それぞれの基本方針等に目標値を設定することはそれだけで大変な作業になってくるため、方針等については、もう少し絞り込んではどうか。
- < 委員 > ・市域内での高齢化に伴う、公共施設への輸送体系の見直しを事業化できないかという意見もあることから、阪急バスが運行している路線で検討できることがあれば、検討していきたい。
- < 議長 > ・キャッチ・コピーについては、公募も含めて検討してほしい。また協議会委員の方にもキャッチ・コピーは考えてもらい、よりモダンで、より多数の市民を対象にし、より市街地に集客できるような案を出してほしい。
- ・具体的な事業については、新たに追加されたものも含めて議論していただきたい。
 - ・市の事業についても、未確定なものがあるが、庁内会議や各種委員会等の議論を踏まえながら、基本構想や基本計画と連動させながら、随時時間的に可能な範囲で、対応していただきたい。

③その他

- ・次回協議会は12月20日(木)午前10:30からアステコンパスで開催予定である。